

## 県教育委員会の改善の方策

平成26年度全国学力・学習状況調査の本県の結果では、B問題（主として「活用」に関する問題）については、正答数の多い児童生徒の割合が、小学校、中学校とも国語、算数・数学の両教科とも全国平均と同程度です。

一方、A問題（主として「知識」に関する問題）については、全国平均と同程度あるいは、低くなっています。また、A問題については、昨年度と比較すると全国平均との差が開く傾向にあります。

そこで、県教育委員会は、以下の1、2のように、本県児童生徒のよさと課題と見られる点を捉えました。

### 1 本県児童生徒のよさについて

#### (1) 小学校

国語・・・発言された提案や意見を整理したり要約したりしながら、適切に話し合いを進められること（B問題1一）

算数・・・目的に応じて、適切な資料を選択できること（B問題2（3））

#### (2) 中学校

国語・・・複数の資料から必要な情報を読み取れること（B問題2二）

数学・・・根拠を示して図形の証明を行えること（B問題4（1））

## 2 本県児童生徒の課題と見られる点について

### (1) 小学校

国語・・・故事成語を適切に使えるよう意味の理解を深めること

(A 問題 2 一)

算数・・・作図が図形の約束や性質に基づいていることを理解すること

(A 問題 1 3 (1))

### (2) 中学校

国語・・・互いの共通点や相違点を分析しながら、話合いの司会や進行を行うこと (A 問題 6 一)

数学・・・概念定義の意味を理解して資料を活用すること (A 問題 6)

これらのことから、児童生徒のよさをさらに伸ばしたり、課題を改善したりすることが重要だと考えます。

よいところをさらに伸ばし、課題を解決するためには、授業改善が必要です。そのため、県としては改善の方策として授業改善に役立つ「さらに伸ばすためのシート」「課題改善シート」を示します。

県教育委員会は、市町村教育委員会と協力し、小・中学校の学力向上の取組をこれからも支援してまいります。